

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公表番号】特表 2020-516668 (P2020-516668A)

【公表日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報 2020-023

【出願番号】特願 2019-556226 (P2019-556226)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/68 (2017.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/68

A 6 1 K 39/395 C

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 L

A 6 1 K 45/00

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/574 A

C 1 2 N 15/13 Z N A

C 0 7 K 16/28

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非婦人科癌を予防又は処置する為のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 2】

前記非婦人科癌が、結腸癌、肝臓癌、肝細胞癌、精巣癌、甲状腺癌、胃癌、胃腸癌、膀胱癌、膵癌、頭頸部癌、腎臓癌、脂肪肉腫、線維肉腫、胸膜中皮腫、メラノーマ、肉腫、脳癌、骨癌、乳癌、前立腺癌、及び白血病を含む群から選択される、請求項 1 に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 3】

モノクローナル抗 A M H R I I 抗体及びその A M H R I I 結合性フラグメントからなる群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 4】

下記の抗体からなる群から選択されるモノクローナル抗体である、請求項 1 ～ 3 のいずれ

れか 1 項に記載のヒト A M H R I I 結合性剤：

- a) 配列番号 2 を含む軽鎖及び配列番号 4 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 V L 及び V H 配列）；
- b) 配列番号 6 を含む軽鎖及び配列番号 8 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 K V L 及び V H 配列）；
- c) 配列番号 10 を含む軽鎖及び配列番号 12 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 軽鎖及び重鎖）；
- d) 配列番号 14 を含む軽鎖及び配列番号 16 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 K 軽鎖及び重鎖）。

【請求項 5】

下記の配列を含む複数の C D R を含むモノクローナル抗体である、請求項 1 に記載のヒト A M H R I I 結合性剤：

C D R L - 1：R A S X 1 X 2 V X 3 X 4 X 5 A（配列番号 65）、ここで、X 1 及び X 2 は独立して S 又は P であり、X 3 は R 又は W 又は G であり、X 4 は T 又は D であり、及び X 5 は I 又は T である；

C D R L - 2 は、P T S S L X 6 S（配列番号 66）であり、ここで、X 6 は K 又は E である；並びに

C D R L - 3 は、L Q W S S Y P W T（配列番号 67）である；

C D R H - 1 は、K A S G Y X 7 F T X 8 X 9 H I H（配列番号 68）であり、ここで、X 7 は S 又は T であり、X 8 は S 又は G であり、及び X 9 は Y 又は N である；

C D R H - 2 は、W I Y P X 10 D D S T K Y S Q K F Q G（配列番号 69）であり、ここで、X 10 は G 又は E である、並びに

C D R H - 3 は、G D R F A Y（配列番号 70）である。

【請求項 6】

上記結合性剤が、抗体薬物コンジュゲートからなる、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 7】

A M H R I I 結合性の操作された受容体である、請求項 1 に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 8】

A M H R I I 結合性の操作された受容体を発現する細胞である、請求項 1 に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 9】

A M H R I I 結合性の操作された受容体を発現する C A R T 細胞又は N K T 細胞である、請求項 8 に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 10】

1 以上の他の抗癌活性剤をさらに含む、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載のヒト A M H R I I 結合性剤。

【請求項 11】

個体が、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載のヒト A M H R I I 結合性剤での癌処置に応答性であるかを判断する方法であって、上記個体から予め得られた腫瘍組織サンプルが、細胞表面において A M H R I I タンパク質を発現するかを決定する工程を含む上り方法。